

駒場松桜会報

駒場高等学校同窓会会報
1990年9月1日 №47

財団法人 駒場松桜会
(事務 毎月曜 10時～4時)

〒153 東京都目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校仰光寮
TEL 03-466-7579 振替番号 東京9-28486

校舎に別れを

―総会に多数の同窓生集う―

平成二年度駒場松桜会総会は、5月20日(日)母校体育館で、二百数十名という多数の出席者のもと、開催されました。今回は現校舎改築に伴う校舎お別れ懇親会が、総会終了後、同じ会場で行われましたこともあり、出席者は駒場卒の方が八割を上回りました。午後一時から一時間におわりました総会の次第は次のとおりです。

司会 小川碧理事(現教員駒3-2)の開会の辞からスタートし、まず全員起立し校歌を声高らかに斉唱いたしました。第三の方の中には第三時代の歌詞で歌われている方もありました。(注)

次に上田光子理事長(26西)の挨拶、そして高橋道彦校長(理事)が母校の概況を話されました。本校卒業生は二万五千名以上になり、二年後には創立90周年を迎えることになりました。その時は校舎改築中となり、式典もできそうにないので、記念誌など発行できればと、先生方と話合っているところでありました。

母校の現況については、竹内淳博教頭先生(理事)より報告があり、今年夏に二つのクラブ(演劇部及び駒場フィルハーモニー)が全国大会に出場するという快挙を成し遂げておりますので、皆様のご声援ご支援をいただきたいとのことでありました。



小川碧理事



校舎改築スケジュールについて
は菅間繁雄理事(理事)

より説明がありました。全面改築となり、まず今年中に体育館・プールを取り壊し、その跡に五階建ての校舎(約一万坪)と通年使用のプールの建設に入り、平成4年3月までに完成の予定、引き続き、全体の完成は、平成7年12月の予定とのことです。

次に、原田慶子常務理事(駒5-1)より事業・収支決算の報告(事業報告及び予算につきまして46号12面、会計報告は本号3面に掲載)があり、また例年通り生徒会助成金(20万円)の贈呈が、鳥居こま常務理事(29中)より竹内教頭先生へ行われました。ご出席いただきました旧教員、及び新任の理事、評議員、監事の紹介があり、最後に林三郎先生(在職昭和22-37年、現松林美術大教授)に、兵舎の校舎から今の校舎へというテーマで、駒場時代に至るまでの熱弁をふるっていました。



徒受入れ時代の昭和26年頃までの興味深いお話でひとまず終わることとなりました。お話の内容につきましては詳細は本号4面に掲載。壇上には、祝全国大会出場・演劇部・駒場フィルの横断幕、受付ではこれらへのカンパ箱や、加藤登紀子コンサートへの予約、校舎を配した記念テレフォンカードの販売が行われ、総会の雰囲気も盛り上がりしました。

校舎に名残りを惜しまれる先生方の御出席も、現校舎にゆかりの駒場同窓生の姿も多く、ファミリーでの御参加やお子様連れと今までの総会風景も和やかで、体育館の中を興味深そうに見たり、校庭の草花や木々の間を遊ぶ子供達に我が校舎を見せたいというお気持ちもうかがえ、心暖まる総会でした。

(注) 男爵千家尊福による歌詞
御く千代田の居座り 忠の路く麻の丘に
桜ひめ松葉の居座り 真金白土の文屋
色香はるるのくちら 頼みなき松も鏡へ
松と桜よこの案
真金と白土を寄玉と樹を世に照らす
玉まなび 望みの光 光輝 希望 希望

学園祭へのお誘い

校舎改築のため、使用可能な教室も限定され、昨年度と同規模というわけにはいかないようですが、同窓生の作品展示、真理ヨシココンサートの写真パネル等でお休み処も設ける予定しております。手作りケーキの喫茶コーナーなども計画しておりますので、皆様ふるって御出品、そ

9月22日(土)・23日(日)

して御参加をお願いいたします。在校生活動もあわせて御覧いただき、変貌しつつある校舎の様子なども見られます。展示作品、販売作品の御出品等につきましてお問い合わせは、松桜会事務局(朝し七五九、月曜、11時～4時まで)までお願いいたします。〆切は9月10日です。

【進路】

最近5カ年の大学合格状況のうち()内は保健体育科

国立公立大	61.3	62.3	63.3	64.3	2.3
北海道大	2	2	1		
旭川医大	1				
釧路大	2				2
青森大	1				
弘前大	3(1)	2(1)	3(1)	2(1)	2
秋田大	1(1)				
山形大		2(2)	1		
福島大	4	2	2	1	
千叶大	9	6	7	6	6
茨城大	1	6	9	5	2(1)
お茶の水女子大	1				
東京大	1	1	2		
国立国語大	3	2	2	1	
東京学芸大	9(1)	12(1)	8(2)	13(2)	2(1)
東京工業大	2			1	
東京商科大			1	2	2
東京薬学大	4	3	2	1	
東京経済大	4	2	3	4	3
京大	4	1	1	1	3
一橋大	1	2	1		
横浜国立大	6	11(2)	8(1)	11(2)	6(1)
横浜国大	1				
香川医大	2				
京都大	1			1	
京都大					
大阪大			1	2	2
大阪府大		1	1	2	1
佐賀医科大					
山口大			1	2	
山梨大	1			2	
防府大					
東京造大	4	10	1	3	2
龍谷大	2	2	2	1	2
信州大	4	1	1		
国公立大	3	15	6	9	5
青森大	21.3	22.3	23.3	25.3	2.3
弘前大	60.3	62.3	63.3	65.3	2.3
山梨学院大	17	13	19	13	11
山梨大	7	9	5(1)	4	10
北里大	21	19	5	22	10
国士館大	5	8	7	9	7(1)
実践女子大	3	8	7	9	7
上野大	10	8	6	9	3
成蹊大	24	29	21	24	24(1)
中央大	14	1	1		
聖心女子大	3	2	3	3	5
明川大	4(1)	7(2)	6(2)	8	10
中央大	44	44	37(1)	35	35(1)
津田塾大	8	7	3	4	2
海城大	10	11	8(2)	12(2)	17(3)
東洋大	7	10	11	17	12
東大女体	4(4)	3(3)	11(1)	12	3(2)
京大女体	4	2	2	4	
京大	14	24	19	11	8
慶応大	9(3)	5	11(1)	14	10
日本文大	42(1)	48(5)	43	44(3)	44(3)
日本女大	2	11	6	6	11
日本女体大	7(7)	3(3)	11(1)	12	12(1)
日本女体大	8(8)	8(8)	5(5)	3(3)	2(2)
文政大	2	1	2	4	5
文法大	20	14	10	4	26(1)
文政大	6	7	8	3	
武蔵工大	4	8	10	4	5
武蔵野大	1	3			
武蔵大	30	50	35	45	34
明治大	33(1)	27	24(2)	18(3)	37
明教大	28	32	19	17	11
早稲大	50(1)	31	31	28	20(1)
早稲大	2	1	12	2	
早稲大	3	1	2	1	
女子経済学大	10	11	11	11	9
女子経済学大	97(7)	153(8)	144(3)	153(2)	214(2)
その他大					

聖 順 学 校	61.3	62.3	63.3	73.3	2.3
女子学院大学	1	2	13	13	12
神 戸 学 校 大 学	1	2	3		
大 妻 女 学 校 大 学	1	2	3(1)	3	5
学 習 院 女 学 校 大 学	3	5	1	1	3
学 芸 大 学 大 学	3	4	2	1	8
大 妻 女 学 校 大 学	3	1	4	2	2
実 業 学 校 大 学	3	3	1	2	1
上 智 大 学	3	2	3	2	1
成 城 大 学	3	6	3	3	1
東京女子体育大学	3(2)	5(5)	1(1)	1(1)	
東京経済大学	4	4	2	6	6
日本女子大学	4(1)	3	1		
日本女子大学	4(1)	3	2	1(1)	2(2)
明 治 大 学	3	9	4	1	4
立 教 女 学 校	6	6	4	3	1
聖 立 女 学 校					
聖 立 女 学 校	32(1)	58	45(3)	44(1)	42(5)
聖 立 女 学 校	21	5(1)			

收支決算

1989年4月1日から1990年3月31日まで

収入の部

	89年度予算	89年度決算	増・減	90年度予算
基本財産運用収入				
基本財産利息収入	500,000	763,697	263,697	600,000
事業収入				
音楽会収入	150,000	206,186	56,186	150,000
会費収入	5,805,000	8,895,600	3,090,600	7,252,000
正会員会費収入	4,500,000	7,590,600	3,090,600	5,800,000
新入会員入金	1,305,000	1,305,000	0	1,452,000
植立収入	150,000	175,286	25,286	160,000
会館建設等植立金利息収入	150,000	82,839	▲67,161	} 160,000
奨学植立利息収入	—	92,447	92,447	
雑収入	55,000	272,054	217,054	120,000
寄付金	50,000	42,000	▲8,000	20,000
運用財産利息収入	5,000	169,666	164,666	100,000
雑収入	—	60,388	60,388	
当期収入合計	6,660,000	11,312,823	3,652,823	8,282,000
前期繰越収支金額	700,000	765,443	65,443	700,000
前収入合計	7,360,000	11,078,266	3,718,266	8,982,000

支出の部

	89年度予算	89年度決算	増・減	90年度予算
事業費	3,010,000	4,452,972	1,442,972	5,050,000
会報編集費	2,200,000	3,492,116	1,292,116	3,950,000
印刷製本費	1,000,000	1,345,340	345,340	1,550,000
通信費	1,200,000	2,146,776	946,776	2,400,000
名簿委託管理費	600,000	745,386	145,386	800,000
駒場高校生徒会助成金	200,000	200,000	0	200,000
雑費	10,000	15,470	5,470	100,000
管理費	1,840,000	1,793,949	▲46,051	1,880,000
諸手当	750,000	775,000	25,000	700,000
会議費	300,000	259,406	▲40,594	370,000
偏置費	30,000	61,339	31,339	30,000
消耗品費	50,000	34,222	▲15,778	50,000
通信費	200,000	63,144	▲136,856	100,000
旅費交通費	250,000	311,750	61,750	300,000
会租公課	10,000	17,650	7,650	30,000
雑費	250,000	271,438	21,438	300,000
積立預金支出	1,800,000	2,638,983	838,983	1,800,000
基本財産積立金	1,100,000	1,363,697	263,697	1,100,000
会館建設等積立金	700,000	582,839	▲117,161	300,000
奨学積立金	0	692,447	692,447	400,000
予備費	300,000	0	▲300,000	252,000
支出合計	6,950,000	8,885,904	1,935,904	8,982,000
次期繰越取合額	410,000	2,192,362	1,782,362	—

有形固定資產

- ① 基本財産積立金 13,888,918 ② 奨学積立金 3,416,339
③ 会館建設等積立金 3,023,561

諸証拠書類と帳簿照合の結果、収支とも正確に執行されていることを証明します。

1990年5月20日

監事 土田 敏 裕 ㊞ 宮崎 玲 子 ㊞

テレホンカードを作りました

今秋から開始される校舎改築を記念して、テレフォンカードを作製しました。仰光寮と校舎1号館正面の2枚を1セットにしたものです。台紙はブック型で、白地に金で「駒場」の文字と校章が印刷され、ちょっと豪華です。1セット2千円で、千部限定となっております。お早目にお申込み下さいますように。お送りいたします。

校舎お別れ懇親会

多彩なプログラムで華やかに

総会に引き続き、校舎お別れの懇親会が盛大に行われ、その後、各ホームルームを使用してのクラス会、場所を改めての同期会がそれぞれに開催されました。それらの雰囲気的一端をお知らせできたとまとめてみました。

大雨との予報は外れて絶好の懇親会日和になり、会は2時より大谷久行評議員（駒20）の司会、山内成將評議員（駒15）の開会挨拶鈴木満元校長（駒15）の乾杯で始まりました。総会時より参加者も少し増え二〇〇名程になり、新入会員も二〇名近くの参加がありました。

びました。懐しい先生方のスピーチ、駒4と駒15のグループによるコーラスのハーモニー、理事たちの努力で集められ、可愛くリボンをにつけられ壇上に並べられた福引の景品などが、和やかにそして華やかに会の雰囲気を感じ上げていました。

在校生の女子バスケット部員達

祝全国大会出場 駒場高校合唱部

祝全国大会出場の横断幕を背に、都代表として全国大会に出場する駒フィールド演劇部が国歌の研鑽の成果の一部を披露し、大喝采を浴



が生徒ホールから運び上げてくれたテイルボールの食べ物のおかげでふより、お互いの旧交を温めるお喋りの方が忙い子ども達の間を、お供で参加した大人も達が、嬉しそうにとび回っていました。この懇親会を企画した時、こんな楽しい光景を想像した時、こんな楽しい母校の体育館で開催出来て本当によかった、と思いました。フィニールは小野井校長先生の指導によりコチコチを踊りました。気分はすっかり在校生にもどりました。駒場が一つに落ちて合う連帯感に満ちたひとときでした。

中林京子（評議員（駒5））の挨拶で二時間間におわたる各校お別れ懇親会を締め閉めました。来年はもうこの春卒業がないことを来年の感慨深いものがありました。

15、18回と六月の駒7回です。

【駒5】懇親会終了後、第二回目の駒5のタイシンホテル近くの芝生広場に大規模な開かれた。参加者は小山、鈴木、渡辺・林・芳成・菱川、前島、田辺の諸先生八名と、男子三名、女子五一名それに駒6が六が特別賞の二名を加えて総勢五十五名に達した。会場が雨の洪水に浸り、芝生に包まれ、メートルは上がった。グレーがセイトがセンセーショナルの模様を呈するに、時間はかかるがなつた。

六名が参加し、全国大会に出場する後輩野馬氏のカンパを集め、同期の河野謙二氏・駒7・熊野照子氏・絵の「母さん先生荒野が」の本の

りと、九時近くまで夜の更けるのを忘れた一日であった。駒場の頃の理想を、そろそろ現実に近いぶけなければならぬ。代々の我等15人、次回は母校創立五十周年の年に再会を！

【胸18】 前回より五年が経ち、校舎お別れ会にあわせ、同期会を開催した。会場の都合で、時半からと時間が重なり総会の途中から駒場エミナスへ移動し、飛鳥の間で石川、木松、善夫の四校生をお迎えし、生徒22名の校舎の思い出話、在学中のあれこれと語り合っ輪がでた。第二回の前回から更にお話も深まり、おひききの後も自然にグループができて、二次会から、次会へと多方面に拡がったようだ。校舎にまた振り归る方も

名あつたのが少々残念。
卒業時、学年主任であられたことをその場で思い出されたという佐伯先生の音頭で乾杯。相変らず大きなお声の林先生、少しもトシをとられない成春先生、相変らずハンサムな菱川先生、温和な高橋・小山先生から懐しい話やら盛りのお言葉をいただいたのに感謝し上り、その熱気をそのまま三大会へと持ち込んだグループも、かなりになった模様。

第一回の会からはブルフの仲間がいて、今も年二回の例をきまつていて、今年も二回は温風行きの話が持ち上がったこと、今回は温風行きは二年後、三・四回トムが幹事で開催される予定、会を重ねる毎に出席者が増し、有意義で楽しい会となる事を祈る切。

同日のクラス会は、駒13 | 2、
の5クラスが思い出の教室を使用
して行なわれ、同期会は、駒5、

や、松坂会作製のテレビジョンカードを販売して松坂会に大いに協力もしたりと、盛りに沢山で楽し同期会だった。

【胸15】 校舎お別れ会に合わせ、急遽開かれた臨時同期会であった。だが、却ってこじんまりと和やかなひとときとなった。場所では母校グラウンドが一望できる大橋図書館5階の和室大広間。御出席の先生は前島昌先生で、生徒は35名の参加であつた。懇親会後、ホームルーム、屋上の校庭の記念撮影をて余興を楽しみつづけ会場へ赴き、六時半より同期会となった。懐しい校舎の思い出を語り合った、歌声「青春の頃の歌を「混声コーラス」した

いらして、校舎へもとり懐いそ
こで記念撮影をしたらしい。学園
祭や体育祭の思い出もよみがえ
り、美術の時間に写生やスケッチ
で親しんだ樹木や成長、景観の劣
化に今さらながら歳月をしのん
だかつての私達の声がこだまのよ
うに響きそうなんだ。私もいつま
かとか感謝のなるが、新校舎が
感奮を楽しみに次回を期待した

【殉7】 卒業三十周年の85年に第
6回を開き、今が二回目。
月30日(土)午後六時半から駒場エ
ミナリス・風凰の間で。
佐伯・林・高橋・小山・姜利・
春成の六先生の「ご出席いただき
まけたら同期生は七十六名」当日
遅刻もなく大滞りの方(男性)が

校舎の変遷

麻布北日力窪から駒場の丘へ



昭和20年5月24日、空襲で明治35年以来的思い深い麻布北日力窪の校舎は全焼。仰光寮、体育館のみの焼け跡で、その後の青空授業のうちに、疎開から帰ってきた生徒を迎え、校舎を求めた。全校あつての学び舎を求めた。汗のあつた日々が、東洋英和女学校や養正館、現都立中央図書館、南山、筑国民学校を拝借しての分散授業のなかで、続く。GHQの担当者からは、「校舎のない学校は学校ではない。廃校すればよい」と言われ、東京都は「なにしろ校舎を探すと、それは学校の皆さんの努力で」と言う。

明治維新によって近代国家として出発した日本は、明治5年学制が施行され、欧米先進国の文化を教材として日本の近代化を促進しようとした。文部省関係、教育関係、その中には体育指導者も含まれて、欧米に派遣され、その文化を持ち帰った。既明治19年、時の

コチロン史

その1 小貫 房枝

(現お茶の水女大)
方舞は12種類もあったというので、コチロンその中に含まれていたと思う。明治30年頃同校では職員、学生で方舞を楽しんでいた。明治35年4月府立第三高女が創立され、初代校長は小林益先生であつた。先生は明治の文明開化にふさわしい女性の育成には、体力が必要だと運動を奨励された。特に方舞は社交ダンスでもあり、とかく舞踏のある中に、その優雅な動



小貫 房枝 (次号に続く)
⑩17 31
仰光寮集合コチロン講習会



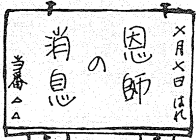
鮫島有美子氏
附22一芸(音)

世界に翔く同窓生

授業と並行して先生の方の校舎獲得行脚と建物授けの毎日。京橋にこんな建物がある。目には兵舎がと父母の方々から有り難い助言と情報で寄せられた。そんなあつた上目、渡辺謙先生他の先生方が訪れた上目、近接する一高などの環境から、麻布の校舎再建に心を残しつつ新生第三の地として駒場の丘に移る。校舎が校舎整備をそこそこ、昭和21年の秋の新学期9月4日麻布から駒場へ移転。当時主な建物として存在していたのは、駒場の校舎は兵舎棟と浴場炊事場、その他(現芸術館位置に旧連隊本部、現目黒一中位置に兵舎一棟)で、

第一運動場現目黒一中グラウンドも整備された。この運動場では、この年11月3日戦後初めての大運動会、昭和23年11月26日創立三十五周年記念運動会を開催している。本校舎は、旧兵舎一棟。木造二階建ての学び舎に六三三制開始の22年は、2年東西中南北、5年東西中南北、4年東西中南北、5年東西中高等科1・2年、専攻科という二十組の女子学生が学びしめいていたのである。兵舎教室は3人掛横3列縦5・6行の机にぎっしりの思ひ出。校舎南、大橋の集合場(現バレーコート)が朝の集會場。現体育館あたりは大きな「けやき」の広場。昼休みや放課後の憩いの場。大橋の大公孫樹前が正門、23

年3月校舎変更「東京都立第三女子高等学校」25年一月「東京都立駒場高等学校」の正門の門標は、随分大きな門札であったが、当時の高校生などの諸君によつて、毎年何度か渋谷道玄坂に移動。現在の正門は昭和27年4月から。井の頭線「高円寺」が駒場の駅から登校して現在の駒場幼稚園門近く、近衛橋連隊の第一裏門があり、雨の日から花火の土手治いに裏門に行くと校舎までほのかの道。雨の登校には長靴でビチャビチャ。24年男女共学になってから、現正門に抜け穴が何度直して出来たようになった。(次号に続く)



連載四回目の今回は、昭和四十年後半から六十年にかけて活躍された先生方及び前同窓にこの場をもち、このコーナーは一応終了させていただきますが、今後も形を変えて恩師のご消息をお伝えしたいと存じます。長い間のご協力誠にありがとうございました。おたすねした項目は次号とさせていただきます。①御年令 ②御在任期間 ③担当教科 ④近況

夫 高橋 正明
妻 高橋 喜美子
(旧姓 鈴木)

①夫 68才
②妻 64才
③夫 吹田市古江台1-21-4
④夫 21・10・45・3 数学
⑤夫 22・4・23・9 数学

③夫 終戦直後、物資は不自由でしたが、自由の気風があふれた楽しさ一杯の学園でした。妻 兵舎をそのまま使った授業と立派な諸先輩のことがとても印象的でした。
④夫 大阪府堺市・大阪府北千住校という姉妹校に、週四日勤めていました。
妻 ソンタという国際婦人クラブで活躍しております。

鈴 木 仁 寿
382 仙台市太白区緑ヶ丘3-15-9
①65才(大14-5・10生)
②26・4・30・3 世界史
③良い生徒に恵まれた学校で、教員として勤務できたことは、本当に楽しい思い出のひとつです。
④東北工業大学電子工業高等学校

大 和 哲 朗
184 小金井市市町1-31-3
①70才
②34才 47年迄13年間 音楽
③その頃、雨の日は、ストロブ当番が両手に傘とバケツを持ち、遠い石炭置場と教室の間を往復していた姿が目につきます。
④今は職に就いていませんが、健康に生きています。

筒 井 将 夫
177 練馬区上石神井3-2-4
①64才
②40・4・61・3 21年間 生物
③よい同僚の先生方と生徒達と、恵まれた環境の中で勤務できた、長女もお世話になり、感謝しています。
④都立杉並高校の嘱託員となり、5年目に定年です。日本鋼名山完登をめざし意欲をもちやっています。

森 田 恒 芳
190 西多摩郡野村町栄町2-21-10
①49才
②25・4・元・3の14年 地理
③1、すぐれた生徒と先生方
④2、校とあふれる花
⑤駒場に対しては、誰か故郷を想わさる。の心境。現在、都立福生高校教頭(定時制担当)2年目。

川 村 昌 子(旧姓 中村)
274 橋本市高根台4-11-8
①47才
②42・4・47・3(芸高独立迄)美術担当
③70年安保の頃の学園紛争が最も印象的。高い知性を持った先輩の先生方と良識ある生徒達があつたからこそ、あの時期を乗り越えられたと思います。
④駒場→芸高→都立工芸高→都立篠崎高→21年間の専任教諭を63年に退職。現在は都立高の非常勤講師をしつつ、制作活動を続けております。

山 本 茂 之
182 王子市大塚4-3-6
①46才
②1万青年ですとので今年が「想像下さい。学校では19才。独身といひ続けています。
③43・4・57・3の14年間 数学
④毎日毎日、恋人と会っているように楽しい授業です。
⑤都立青山高校で二年担任中。いつまでも青年のつもりで元気に、楽しく授業をしています。趣味のスキー・テニス・将棋も頑張っています。

脇 則 之
194 町田市鶴川3-7-6
①54才
②44才 46年 音楽
③芸術高校新設のこと
④新宿高校

谷 本 忠 志
188 無市西原町4-3-32
①42才
②25・4・62・3 理科(化学)
③エネルギーレベルの高い駒場の生徒諸君に会い、いつも励まされつつあったこと、今も駒場はもつともなつかしい学校です。
④都立西高等学校 三年担任

本 島 邦 男
157 世田谷区千歳台5-7-8
①54才
②43年 平成元年 数学
③自分の子供の友人達を教えたことなど。
④都立狛江高に勤務

新 納 基 樹
183 目黒区東山3-14-11
①46才
②48・4・56・3 数学
③野球部・臨海学校・スキー教室
④駒場から小山台高校に転任している目になりまし。現在、三年生の担任です。

坂 本 育 雄
152 目黒区八雲5-11-23
①61才
②48年 57年 国語
③駒場高校の生徒ほど、私の話を熱心に聴いてくれた生徒は他にいない。大変感謝しています。
④鶴見大学文学部で、近代日本文学を教えています。

小 澤 猛
199 青梅市野上町4-3-14
①50才
②41・4・60・3 数学
③素晴らしい生徒にめぐり合ひ、教師達も素晴らしいこと。
④都立北多摩高校で数学を教えています。健康です。ソフトボール部の顧問です。

徳 永 哲 彦
194 町田市能ヶ谷町1521-153
①44才
②46・9・平成2・3 保健体育
③保健科のクラス担任を3回卒業させたこと。サッカークラブ指導が大変楽しかった。
④3月中旬から(7月下旬迄の子定)関東中央病院に入院治療中。(都立戸山高校勤務)

—第三高女から駒場高校へ—

俺たち駒場の男の子 その(2)

卒業して三十有余年 熟年を迎えた男たち

今回は、各界で活躍している駒場の四人の方々に、母校の校長室に集まっていただき、色々と当時の思い出を語ってもらいました。出席いただいた方は、阿部長太郎氏(駒六一二) 齋藤修平氏(駒六一二) 関口忠氏(駒六一五) 和田哲郎氏(駒六一二)の四氏。司会は衆太郎(駒六一六)。

座談会の始まる前に、高橋校長先生のご配慮で、昭和23年頃の建物の配置図のプリントをいただき、それを見ながら当時の思い出し、特別教室のあった場所や新しく建増された校舎の位置等を確認しあうたが、五人の意見が一致しない所もあった。はて、そこにそんな建物があったのかと、疑問の声も出た。現在の校舎の配置からでは、当時の事を憶えず、最初は戸惑の連続であった。しかし、話が進むうちに、記憶もよみがえり、時間と空間をタイムマシンで飛び越え、話題は果てしなく続き、しかも数々のエピソードが語られた。



阿部 長太郎氏(駒六一二)
現役時代、新聞部所属
男子で初めて生徒会長に当選。
東京大学卒業。宇都宮産産株式会社に
入社。現在機能性材料開発部長。

〈司会〉今日は、お忙しい中をお集まりいただきまして有り難うございました。この企画は前号の会報に掲載しましたが、俺たち駒場の男子の第二回は、俺たち駒場の前回は、駒二と駒五の方をそれぞれ、個人的にインタビュー形式でお話を伺いましたが、今回は趣向を変えて、お集まりになった四人の方に、自由にお話をしたいなとしたいと思ひます。どうかよろしくお願ひいたします。

ばつぱんと男の子
〈阿部〉東大前との駅を降りて、坂を登って行く時、女性群の中を男の子がばつぱんと行くような感じがした。
〈和田〉あれは誰しも印象的ではないです。僕は、お袋が第三出身だったから、大体どんな所かというのとは分かって、だあーとセーラーの波でしょう。(笑い)そこを降りて、そこを登って行く



齋藤 修平氏(駒六一二)
現役時代、野球部所属
東京大学卒業。建設省に入省。大
臣官房審議官を経て、現在建設経
済研究所常務理事。

のだからね、それに、皆ユニフォームでしょう。当時は皆そんなに豊かではなかった。男は兄弟がいれば、たいていお古の洋服で、くたびれた服を着ていた。
でも、女の子は全部新品、それに駒場のユニフォームは黒っぽい、それがずらりと続くのだからそれこそ大変な圧迫感だった。
しかし、女の子を学校に行かせるのは大変だよな。俺達は着のみ着のままでいけど。(笑い)
〈阿部〉そういう点では、僕は太橋の方から通って来たから、僕等の学年は向こうから通って来るのは人数では、むしろ男の方が多かった。だから登校途中はどろどろだった。(笑い)
しかし、やっぱり圧迫感というのは、何となく逃げたくなかったのは朝礼の時です。だから僕は朝礼の時間徹底的に逃げ回った。
〈和田〉桜花園に通った朝礼の時、大勢の女の子に囲まれ、新入生の一人が頭を血が上って、鼻血を出して倒れたのを見た。女の子を紹介されてその子を見て、俺も倒れないかと思った。(笑い)
そういうことは、生徒会長は、女性(阿部)です。す。名和田さんという方でした。
〈和田〉我々の憧れの人!

選択でクラスが決定

〈司会〉一年の時は、生物選択五クラス、化学選択一クラスで、生物を選択したクラスは芸術の取り方でクラスをわけました。
ところで関口さんは、化学を選択したので、他のクラスと違って男子が多かったですね。
〈関口〉そうです。五ホームは女性の方が十数人でした。だから運動は何一つでも強かった。だから上級生が残っていましたね。でも上級生は怖かった。
〈阿部〉斎藤さん、貴方は一年の時、何ホームだった。それで男の子は何人いた。
〈斎藤〉僕は二ホーム、一年から三年までずっと二ホーム、男の子は少なかったです。
〈関口〉二ホームはずっと男が少なかったのではないかな。
〈阿部〉いや、一年の時だけ、三年では男の方が多かった。
〈阿部〉その方は(和田と司会の余を指す)一年の時一ホームで、男は十人、一年で一番少なかったクラスだった。選択は書道を取ったクラスだった。
〈司会〉書道だけを選択したクラスでした。芸術が4単位とれて書道と他の音楽とか美術を選択した



関口 忠氏(駒六一五)
現役時代、男子バレー部(部を設立したメンバーの一人)
とカササギ株式会社を設立、
現在同社代表取締役社長。

いに知って入ったわけではないです。入ってびっくりして、慣れると言われても、年令的に無理な時期でもあった。それが朝礼とか嫌な先生の時間、特にこの学校は進学を考えた時に、東京女子大とか日本女子大を想定してそのレベルなから、男の子はもっと頑張らねばいけません。おそろい発奮させよう、先生は言ったのでしたが、当時は、その事が非常に気にならず、それから寮室に一人でやろうと、非常に、こう迷回したと思ひますけど、何となく逃げたくなるという時間がありました。

旧制高校から女学校か

〈阿部〉二年生ぐらいから、変わりました。
〈斎藤〉僕は、たまたま三年間久保田先生が担任だったが、あの先生の考え方に共感した。当時の年齢からすると共感した人達が多かったと思ひます。
〈阿部〉あの先生は、自分の信念というか哲学を持っていた。

〈和田〉僕の場合は、旧制高校の雰囲気をかち持たせたいと、していたのではないかな。
〈司会〉それは、ありました。
〈和田〉必ずしもそうばかりではないかもしれないが、当時、僕達



和田 哲郎氏(駒六一二)
現役時代、新聞部所属
国際基督教大学卒業。NHKに入社。現在国際局制作センターチーフディレクター。

と逆の立場で男子系の子生徒、それもかなり居心地が悪かったらしい、我々より更に酷かったようだ。進駐軍の命令だから、文部省が言っても仕方がなく、入れやうだった。だから隅でおとなしくしてやうというように。
我々だって、第三高女以来の先生に旧制女学校と比較をする様な言辭を弄されて、カチンときた事もあったと思ひます。
〈阿部〉先生方の考え方も分れていたのではないかな。第三時代からの先生とそれ以後の若い先生方では考え方に大分違いがあった気がする。それで男子の教育が混迷して、我々の下の学年は男女別学になった。この学年だけで、その下は、また元にもどった。
〈和田〉我々は六・三制の二期生、始まったばかり、先生方は上からの命令だからという事で仕方なくやっていた。精神は良いけれども、やってくる事はどうもいんげんくさい、それで、こっちは腹をたてる。(笑い)

うのです。元になるのは、実際の動きなんです。例えば、何か物を取る動きをとします。部長が言うのは男の感覚ではなくて女の感覚なんです。男は(こ)形(立つたまま)で取るけど、女は膝を折って物を取る。全て女性だけの動きにまたま男が入ってきたという感じだった。
僕は、今の筑波大駒場中の出身で、それまでは男ばかりの所から来たから余計そう感じました。
〈和田〉話を戻すけど、斎藤さんが(こ)もんとして悩んでいたわけだけど、何時の頃からだろう慣れたのは、意識の中に女の子が多いう学校という事はあるが……..
〈斎藤〉悩んでいたわけじゃありません、びっくりして、嫌な事をかなり露骨にさげすんで、嫌な事けれども、駒場で初めて硬式で野球をやりました。そういう時間を待つことが出来た事や担任の先生が比較的理解を示してくれた事もありました。
朝礼に出ない他の先生につかまる事もありました。
〈和田〉斎藤さん、朝礼というのの権利を全部まとめて見られるという利点もあるから、楽しい時間だった。(笑い)
〈斎藤〉そういう風に思える人

には楽しい時間だったのでしょうか。でもコロンがどうの何があるの、という話を聞いているのも、どうもね……..
〈関口〉話も長かった。
校長先生だけでなく、その他、必ず教頭先生や二、三人の先生が話をした。
だいたい、あの朝礼台の上へ上がると震えたよ、カボチャに見えなかつた。男の子がよぼよぼとしかなく、女の子がむんむんしたもの……..
〈和田〉ところで皆さん、あの当時昼飯はどうしてました。
〈阿部〉個人的な記憶だと、和田さんはこんな大きな弁当を持ってきた。細いのに、よく食べるなと覚えていて。
〈斎藤〉弁当を食べる場所が良かったね、あの谷間とか。
〈阿部〉そうそう、野外でね食べられた。
〈斎藤〉教室で食べる必要がなかった。
〈関口〉だいたい10時頃には、持っていた弁当はなくなっていた。持てないかな。そして、量は坂の上のパン屋に行き、勝手エコーペンにジャムやバターをつけて食べた。学校のパン屋には行かなかった。
◆座談会を終わって
五十五歳の男子の足は、女子生徒の昔と変わらぬセーラー服姿を見て大変感激した。懐かしき青春時代を思い出した。座談会が終わっても、その余韻は尽きず、夜が更けるのを忘れて語り合った。
司会 衆太郎(駒六一六)

—チケット完売—

全国大会出場
演劇部・駒フィルへのカンパ御礼

全国大会出場
演劇部・駒フィルへのカンパ御礼

【駒フィール】4月29日(日)世田谷

①住所変更、改姓等は必ず事務局へお知らせ下さい。

②会費の通信物には、卒業回数、クラス又はホームを必ず御記入下さい。

お忘れの方は、会報送付の封筒裏面シールに記入されておりますので御確
認下さい。尚、旧姓を必ずお書き添下さい。

第三の方=D、クラス 東=E、中=M、西=W、南=S、北=N、
高等科の方=H、クラス 東=E、西=W、駒場の方=K、
例：D34E=第三34回東級、H05W=高等科5回西級、K0903=駒場9回
3ホーム

③年会費納入用の振込用紙は、3月発行の会報発送時にのみ同封いたしました。

④同期会開催の折は、事務局まで御一帳下さい。

⑤事務局は月曜日の10時から4時までとなっておりますので、お電話での御
連絡はこの間をお願いいたします。

理事長	上田光子(26西)
校内理事	高橋隆吉(現校長)・竹内淳博(現教頭)・岩間雄雄(現小務室長) 小川 碧(現教員)・山本孝子(現教員)K4-5
常務理事	島田正二(29中)・吉田 孝(37中)・中江千恵(K4-3) 原田順子(K5-4)・中島供子(K6-2)・田村敦子(K9-8)
理事	芳井美より(31福)・中野野子(K6-2)・松谷賢治(K5-3)
監事	土田敏祐(現教員)・宮崎玲子(K6-5)
評議員	理事委員会 小川富美子(24南)・石橋千鶴子(25東) ○法眼泰子(31中)・鹿野美子(32南)・小杉明子(33南) 松 安子(K4-3)・松岡孝子(39中)・吉田富美枝(43福) 石川清子(K4-4)・藤田美奈子(K4-5)・中林京子(K5-2) 花 光一郎(K5-7)・藤岡通也(K5-5)・中島恵子(K5-5) 松 越隆(K7-3)・廣河利恵子(K8-3)・井川はるみ(K9-9) ○辻井美子(K14-1)・阿久江富士子(K14-3)・石沢一子(K15-8) ○田中順子(K18-3)・○大谷久子(K20-6)
顧問	○阿部長成(現校長)K6-2)・※ 太郎(K6-6) 高橋陽子(K7-3)・○山内成博(K15-1)・平山静子(福8系)

退職	転出	転入	電話での御
教頭 慶徳 孝先生 英語 浅羽健二先生 実習助手 中田和子先生	英語 早川富 先生 国際高校へ 保体 徳永哲彦先生 小川高校へ	教頭 竹内啓雄先生 教員 羽田高俊先生 社会 澤菜達雄先生 小川高校より 英語 熱田憲俊先生 桜樹 高松より	実習助手 鈴木直美先生 駒込保体科卒

[illegible]

池房芳郎先生	昭和61年5月20日
木下一雄先生	平成元年5月27日
大上ミネ先生	平成2年5月12日

謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

◆昨年の学園祭で、卒業生のスポーツ界での御活躍を御紹介しましたが、写真を飾り、在校生にも大好評でした。資料の提供など御協力に御礼申し上げます。

大井健一君（駒36—2）慶大
近藤祥太君（駒38—6）早大
○女子柔道

田辺陽子さん（駒大36）
ソウルオリンピックク

功力靖雄氏（駒7—6）

久保田洋一氏（駒15—7）

順天堂大監督
○エアロビクス

宇田泰子さん(駒32—9)
全日本グランプリ

○ママさんバレー
土岐（野儀）まり子さん

（駒4―2）全国の役員
品野（戸崎）直子さん
（駒6―4）黄兵衛で憂鬱

▽編集後記△

今回は名紙面が窮屈で、かなり省いた表現となり、読みにくい所もあるかと思ひます。紙背に溢れる思いをお汲み取りいただけましたら幸いです。(平山記)